

C&C

Cure and Care
communication

第102号

コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) http://www.pia-gr.or.jp/

医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院

介護医療院 びいろ
介護老人保健施設 まいえ
グループホーム つばい

社会福祉法人 双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所
居宅介護支援事業所

介護医療院 びいろ

開設1周年を迎えて

昨年九月一日に介護医療院びいろを開設し、一年が経ちました。お陰様でこの一年間に二七名の入所者があり、多くの方に利用していただいております。介護医療院は医療、介護、住まいの三つの機能を併せ持った新しいコンセプトの施設です。慢性的呼吸器疾患、心不全、糖尿病、認知症など従来の施設では対応できない、酸素や点滴など医療が必要であり、日常生活全般に介護が必要な方に安心して長期療養していただくことができます。

介護医療院に求められている役割は、①質の高い療養環境を提供し、潤いのある魅力的な施設にすること②入所者の自立を支援すること③入所者の尊厳を保持すること④地域に貢献し地域との交流する施設とすることの四つです。

①質の高い療養環境について…介護療養病床の時は当院が認知症の患者さんが多くおられることもあり、私物の紛失、破損、安全管理の面から私物の持ち込みは極力避けていました。しかし介護医療院では、病室は個人の部屋として生活空間と考

え、慣れ親しんだものなど持ち込んでもらうようにと考えています。穏やかに安心して療養できる環境作りを目指しています。

②自立支援について…一人ひとりの状況に応じた自立支援を行えるよう生活の中でのリハビリを行っています。回復期リハビリテーション。回復期リハビリテーションから見られるようになり、回復期リハビリ後のリハビリを行い、今後の療養先に適するように自立支援しています。ただ、回復期病院と違いリハビリスタッフが少なく思ったようにリハビリが行えないのが現状です。今後限られたマンパワーの中で効率よくリハビリを行っていくことが課題です。

③入所者の尊厳を守ること…いかに看取るかは入所者の尊厳を守る重要なことと考えています。一年間で五一名の方を看取ってきました。本人の意向に沿った、本人らしい人生の最終段階における医療・ケアを実現し、最期まで尊厳をもって人生をまっとうすることができるよう支援しようと考えています。人生の最終段階における医療介護に関す

る事前の本人・家族、医療介護スタッフとの話し合い(アドバンス・ケア・プランニング)を行っていかねければいけません。例えば、誤嚥性肺炎を繰り返し、食事を行えなくなった利用者さんに対し、経管栄養はしないが、本人の好きだったものを口に含んでもらい、香りや味を楽しんでもらうこととするとといった看取り計画を家族医療スタッフが共通の認識の元に行うことです。しかし、現状ではアドバンス・ケア・プランニングは十分行われていません。職員研修等を行い積極的に取り組むつもりです。

④地域貢献について…認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム設置、介護、認知症に関する講演会等を通じて今まで以上に認知症を地域づくりに貢献したいと考えています。

今後介護医療院に求められているものを達成できるように、職員一同努力してまいりますのでよろしくお願いたします。

介護医療院 びいろ
院長 塚野 健



佐伯区認知症初期集中支援事業 開始から1周年を迎えて

この度は、認知症初期集中支援事業開始から1周年というところで、チーム医師の梶川が投稿させていただくこととなりました。

超高齢化社会へ向けて時代は進んでおり、これからますます、高齢人口は増えていく一方です。同時に認知症の方も増えていくことが予想されます。そうした中で、地域の中で孤立しかけている、または孤立している認知症の方をサポートしていくことがこのチームの大きな役割の一つと考えております。

昔に比べて地域のつながり、人と人とのつながりが希薄になっていく昨今、地域のつながりの役割の一端を担っていくこともこのチームに求められていることと感じております。今までは本当に困り果てた危機状態で地域包括支援センター(以下、包括)に相談が来ていましたが、危機状態に陥る前に、こちら側から困った方々に歩み寄りサポートしていく活動です。

佐伯区の場合はナカムラ病院内で初期集中支援チームを作っており、医師、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士、介護福祉士の各専門職、総勢十五名がチーム員として参加しております。包括に地域の相談が集結

し、包括にて解決できなかった場合、その困難事例の相談が当チームに寄せられます。

ご自宅への初回訪問には、主に二・三名のチーム員が伺いますが、その中で医師が参加することはこのチームの大きな特徴であります。医師が訪問することで、状況把握、状態把握が、よりの確に進み停滞していた物事が進んでいきやすくなります。

二週間に一度のチーム員会議には、ほぼ全メンバー、そして包括のスタッフ、ケアマネージャーなどが参加し情報共有しております。

妄想が強くて家族も寄せ付けず、また身体疾患もあるのに病院受診もせず、何年も一人暮らしされている方、老老介護の中夫の嫉妬妄想に疲れ果ててしまった女性の方等、様々なケースがあります。その方々を医療介護につなげていくことで安心した社会生活を送れるようになることが最大の目的であります。

今後、一人でも多くの方の生活を支援できるよう、寄り添いながら、認知症初期集中支援事業に取り組んでいきたいと思っております。

ナカムラ病院 医師 梶川 広樹



九月になってもまだ暑さの残る午後。レクリエーションのお部屋で今か今かと待っていた利用者さまの目の前に現れたのは、数匹のかわいいワンちゃんたち。今年も元気に参上いたしました。

始めは、「私は犬が苦手。」と言われていた利用者さまも元気に車椅子の間を駆け回る小型犬に恐る恐る手を伸ばし、いつしか表情も和んでいらつしゃいました。柔らかな毛並みや大型犬の愛くるしい表情から「昔うちにも犬がおったよ。」と飼っていた当時を思い出され、利用者さまの笑い声と共に優しい時間は瞬く間に過ぎていきましました。今回もワンちゃんとの触れ合いを通し大切なものをいただきました。「来年も来てね。」そう言いながら手を振る利用者さまの目は輝いていました。

介護老人保健施設 まいえ2

介護主任 板谷 真弓

まいえー すすめ! ドッグセラピー



歯科の扉

～お薬と歯の関係～

お薬は口の中の状態と深い関係があります。まず、一番身近なものでは、降圧剤（高血圧の薬）の中には、歯を包み込む程に歯ぐきが増殖する副作用を持つものがあります。増えてモコモコになった歯ぐきと歯の間には汚れが溜まりやすく不潔になります。別の種類の降圧剤に変更すれば増殖がおさまります。次にアレルギー薬や抗不安薬の中には口の中が乾燥してしまうものがあります。どうしても薬を継続しないといけない場合は、保湿剤で口を潤します。

ステロイド系の薬は、感染に対して抵抗力が弱くなるため、口の中にカビが生えたり、歯周病の炎症が起こりやすくなります。最後に、骨粗鬆症の薬は、歯の治療のタイミング次第で顎骨壊死が起こる可能性があります。お薬の副作用をしっかりと調べて内服することが大切です。少し意識してみてください。

歯科医師 山脇加奈子

令和最初の「陽光の家夏祭り」を七月二十八日(日)に開催いたしました。

陽光の家族会会長の乾杯のご発声から始まり、食事はバイキング形式でお好み焼き串・いなり・揚げ物など多くの種類を準備させていただきました。特に焼きそばの実演販売は大変好評でみなさま「おいしい、おいしい」とおっしゃっていたのがとても印象的でした。

夏祭り後半では、職員による出し物をみなさまに披露させていただきました。



令和最初の

陽光 ふぁみりー

陽光の家夏祭り

ました。スイカ割りを行う予定で、スイカ割りの歴史やクイズを出題し、スイカについての豆知識をみなさまに伝授いたしました。スイカ割り以外にも職員が得意とする、怪談話や神楽の舞など夏の雰囲気みなさまと共有し職員も一緒に楽しむことが出来ました。神楽では一瞬で鬼の面へと変わりみなさまびっくりされていました。お面の装着をっそり教えてもらい、神楽の裏側を見たり、普段とは異なった時間を過ごすことが出来たのではないかなと思います。今後もみなさまの笑顔を見ることが出来るように取り組んで参りたいと思います。

特別養護老人ホーム 陽光の家

生活相談員 佐々木雄治



要配慮者利用施設

避難訓練をおこないました！

八月三十日(金)、令和元年度広島市総合防災訓練がおこなわれました。自衛隊や県警など十三機関、約三〇〇人が参加したこの訓練は市内四カ所で実施され、その中の一カ所に土砂災害警戒区域にある当法人が選ばれました。訓練の主眼は「避難確保計画に基づき、管理者の誘導により、利用者が立ち退き避難を行う。それにより、計画の実効性を検証するとともに、訓練の練度向上を図る。また、訓練を公開することで、各種の施設管理者及び市民の関心を高め、同計画の作成・報告率及び訓練実施率の更なる向上を図る」というものでした。

午前十時三十分、「警戒レベル3」避難準備・高齢者等避難開始が発令されたという想定で訓練が始まりました。職員のお子さんを預かる保育室からは、約三十人が向かいのナカムラ病院七階に避難しました。(写真①)また、グループホームつばいからは、入居者六人が職員の運転する車で同

じように避難しました。訓練は開始から約三十分で終わりました。

当日は新聞社二社、テレビ局二局の取材を受けました。訓練の様子は、同日夕方のニュースと翌日の朝刊で紹介されました。最後になりましたが、訓練にご協力いただきました皆さま方へ心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

医療法人ピーアイエー

防火防災管理者 中田 英雄



写真①

不審者対応訓練をおこないました！

八月二十二日(木)、法人内の職員研修として「不審者対応訓練」をおこないました。講師は広島市佐伯警察署の木村警部補と兼丸巡查部長にお願いしました。

前半は、病院玄関を入ったすぐの受付に不審者が現れた想定での訓練でした。言い掛かりをつけ、執拗に絡んでくる不審者に事務職員が対応しました。ひとりが一一〇番通報をし、ひとりが興奮させないよう穏やかに話しかけました。その後、館内放送で男性職員をロビーに集める訓練もおこないました。(写真②)

後半は大ホールに場所を移し、夜勤帯に病棟へ不審者が現れた想定で訓練をおこないました。(写真③)威圧的な態度で動き回る不審者に対し、病棟職員はお茶を勧めてなだめさせます。しかし、興奮した不審者はついにポケットからナイフ(偽物)を

取り出します。想定外の展開に職員一同、頭の中が真っ白になる場面もありました。

まずは「不審者に気づくこと」。そのためにも職員から積極的に「声をかけること」。その上で相手が職員の指示に従わない、または怒鳴り始める場合は、自身の判断で「応援を求め、一一〇番通報すること」を学びました。

医療法人ピーアイエー

総務課長 中田 英雄



写真②



写真③



毎年行っている作品展も、今年で十七回目を迎えました。今年にはナカムラ病院、介護医療院ひいろ、デイケアにぎや家、グループホームつぼいから三百点以上もの作品が集まり、介護老人保健施設まいえからは、生け花の展示が行われました。

作品展

第17回
患者さま・
利用者さま

今回、正面玄関には、縁起の良いダルマの置き物や干支である猪の作品を飾り、演出しました。作品は、ぬり絵や貼り絵、折り紙、書道、編み物などさまざまな種類のものがあり、四季や懐かしさを感じさせるものなど、どれも見ごたえのある作品ばかりです。

患者さまと作品巡りをしていると、自分の作品や名札を見つけて「恥ずかしい」と言いながらも嬉しそうに表情をされたり、他の患者さまの作品を見て「立派なのが出来とるね」

「私もこれ、作ってみたいいわ」「〇〇さん、こんなに字を書くのが上手なのね」などのさまざまなお声が聞かれ、私たちもとても嬉しく思います。

今後も患者さまや入所者さま、利用者さまとの日々の関わりを大事にし、その人らしさや良い表情を引き出し、作品展のテーマでもある「今も生きる」を援助していけるよう、一人一人にあった作業や活動を考えて提供していきたいと思えます。

ナカムラ病院 リハビリテーション科
作業療法士 矢野ちさと



スタッフインタビュー



毎回シリーズでお届けしている各部署責任者へのインタビュー。今回は鈴木 公司B1介護主任です。

Q. 介護福祉士を目指したきっかけを教えてください。

A. 介護保険制度がはじまり、祖母に可愛がってもらったことを思い出し、高齢者のお世話をする仕事をしたいと思いました。

Q. 仕事にやりがいを感じるのどのような時ですか。

A. 他職種協働により入所者さまのストレングス(強み)を活かした支援ができ、ご家族や入所者さまから笑顔を頂いた時です。

Q. リフレッシュ方法はありますか。

A. キャンプや釣りに行ったりスポーツをして汗を流すことです。



Q. 今一番楽しみなことは何ですか。

A. 仕事終わりのビールです。

Q. 今後の目標を教えてください。

A. 初心を忘れず、より良いサービスを提供できるようにスタッフ一丸となり頑張ります。

★ ★ ★
ありがとうございます。

★ ★ ★
これからも頑張ってください。

夏だ、海だ、 釣り大会

B6病棟



▲皆さん大漁! お見事でした。

いきいき 行事だより

夏拡大版

そめん流し

まいえ2



▲いっぱいすくえたよ!! いただきまーす

やがた祭り

にぎや家



▲浴衣を着てニッコリ

ビアガーデン

にぎや家



▲乾杯! やっぱりビールは最高!!



敬老会

今回初めてボランティアに来て下さったジャズ教室Shara Jazz Vocal Studioの佐藤いより先生と生徒の皆さんによるジャズ演奏を聴かせてもらいました。オカリナやハーモニカ演奏、そして美しい歌声に皆さんとても喜ばれ、大きな拍手が沸き起こっていました。

演奏の傍らNHKカルチャー、ちゅーピーカレッジのジャズヴォーカル講座で指導。今秋、ジャズピアニスト丈青との親子Jazz CD『Shara Story いのちあるものみな愛し(カナシ)』をリリース。活動はホームページ等にて随時更新中。

佐藤 いより 先生

いきいき行事ダイジェスト

7月



- セタ会(B5病棟・B6病棟・B7病棟・まいえ2)
- 家族会(つばい)
- 浴衣祭り(にぎや家)
- 夏祭り(まいえ1)
- ボランティア・売店(陽光の家)
- 夏祭り(陽光の家)
- 法話会【浄土寺】(陽光の家)



8月



- 夏の歌会(A3病棟・B5病棟)
- そうめん流し(まいえ2)
- ピアガーデン(にぎや家)
- 納涼会(つばい)
- 夏だ、海だ、釣り大会(B6病棟)
- 売店(陽光の家)
- おやつレク(陽光の家)
- 法話会【光禅寺】(陽光の家)



9月



- 法話会(リハビリ)
- お月見(B7病棟)
- ドッグセラピー(まいえ2)
- お月見 玉渡しゲーム(B6病棟)
- 敬老会(つばい)
- 秋の大運動会(B5病棟)
- 秋のお楽しみ会(にぎや家)
- ボランティア・売店(陽光の家)
- 敬老会(陽光の家)
- 慰問(実り会)(陽光の家)
- 慰問(大正琴)(陽光の家)
- 法話会【善正寺】(陽光の家)

世界アルツハイマーデー 記念講演

令和元年9月5日(木)佐伯区民文化センターホールで『佐伯区世界アルツハイマーデー記念講演会』が開催されました。

院長の塚野が講師に招かれ「認知症かな? 困った時のオレンジ支援チーム」の内容で、手話通訳と要約筆記もあり、障害のある方にも優しい講演になっていました。

認知症初期支援チーム(佐伯区オレンジ支援チーム)は、認知症の疑いはあっても、医療や介護サービスになかなか繋がらないなど、個々のケースに応じて専門医や専門職が家庭訪問を行い、医療や介護のサービス利用に向けてサポートを行う役割を担っています。

認知症初期支援チームの「初期」という意味は、「初めに」「初めて」という意味合いだけではなく、最初の関わり、ファーストタッチの重要性を話しました。

「認知症かな?」と思ってもなかなか受診できない本人やご家族に代わって、チームが介入することで、受診のきっかけを作る、治療やサービスを受ける前段階まで前に進むことが出来ます。

認知症初期支援チームが始動する事で、サービスに繋がり、良い結果をもたらす事例が増える事を期待したいです。

介護老人保健施設まいえ 看護部長 木原久美子



認知症カフェだより

9月20日(金)に、認知症カフェ サロン・ド・ファミーユを開催いたしました。



この日のテーマは、『誰でもできるらくらく介護術～食事編～』

食事介助に関する様々な方法について、当院の介護主任と言語聴覚士による解説とともに、介助シーンの寸劇を披露いたしました。途中、ちょっとした進行上のハプニングもあったようですが、そこは経験豊富な介護職員、アドリブで会場の笑いを誘いながら見事演じりました。

続いて皆さまで二人一組になり、お粥を使って食事介助をされる側・する側を交互に体験。会場のあちこちで歓声や笑い声が起きるととても楽しいひとときでした。

食事介助を受ける方々の立場を想像した時、「何を口に入れられるのだろうか」といった不安感が生じる可能性が考えられます。そんな当事者感覚を「体験」する。これは座学だけでは得られない有意義な時間だったのではないのでしょうか。事実この日の質疑応答はいつも以上に多く、お客様の評価も上々で、密度の濃い回だったように思います。

芸術の秋、認知症カフェ サロン・ド・ファミーユでも、次回以降音楽をテーマにした催し等を予定しております。みなさま、どうぞお気軽にお立ち寄りくださいませ。

ナカムラ病院 臨床心理室 厚井 真一



暑い時期をやっと超えて、時節は秋めく頃でしょうか?
私事ですが先日、最高九十歳手前の方々とフラダンスを競演する機会があり、その元気さと動きの綺麗さにとっても驚きました。これに限らず、地域の取り組みに参加する中でも、最近のいわゆる高齢者の方々はとて若々しく、楽しそうな方が多いなと感じます。私も負けないように、みなさんのように経験を重ねながら、叶うならば健康に、助け合いながら生活する力や関係を持ちたいものです。…が、まずは季節の変わり目に負けずに体調を崩さず、紅葉や旬の食べ物を楽しみたいと思います。(N)

編集後記



2019年 10月 ▶ 2020年 1月

今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。	
展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	10月中旬▶12月中旬 植田トシヒコ・下川マトシ アンティーク コレクション展
	12月下旬▶1月下旬 2020年 カレンダー展
第二展示コーナー	10月上旬▶12月中旬 広島市立大学芸術学部 学生有志作品展
	12月下旬▶1月下旬 2020年 カレンダー展